

# 第79期 中間決算のご報告

2013年4月1日～2013年9月30日



極東開発工業株式会社 証券コード:7226



## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2013年4月1日から2013年9月30日までの当社第79期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州の債務問題の長期化や新興国経済の成長鈍化の影響が懸念される等、景気の先行きはやや不透明感が残るものの、新政権下での経済・金融政策等を背景に回復基調で推移しました。

このような状況下、当社グループは2013年5月10日発表の新中期経営計画 **「Next Step 2015」** ～さらなる飛躍に向けて～（2013年4月1日～2016年3月31日）の初年度として、経営基盤の再構築と企業価値の向上を図るべく、諸施策を実行しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較して、売上高は、主力の特装車事業の増加等により5,257百万円（14.5%）増加して41,614百万円となりました。損益面では、売上高の増加ならびに収益性の向上により、営業利益は1,775百万円（82.9%）増加して3,915百万円、経常利益は1,733百万円（76.6%）増加して3,995百万円、四半期純利益は712百万円（53.5%）増加して2,046百万円となりました。

なお、通期の配当金につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また足元の業績が比較的順調に進捗し

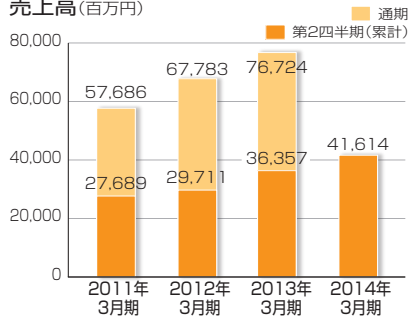
ていることから、中間配当金につきましては、前期実績の1株当たり7円から3円増配の10円といたします。また、期末配当金につきましても、前期実績の1株当たり9円から1円増配の10円とする予定です。これにより、年間配当金は前期実績の1株当たり16円から4円増配の20円となる予定です。

株主の皆様におかれましては引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

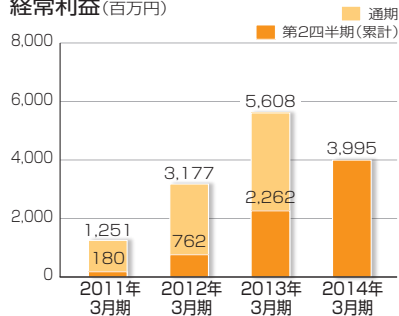
2013年12月 取締役社長 高橋和也

## 業績ハイライト

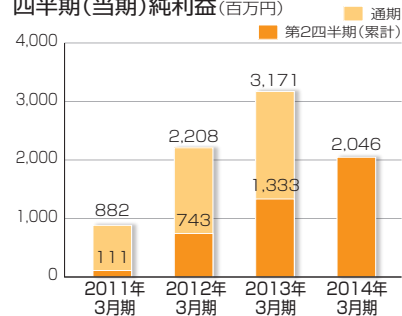
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



四半期(当期)純利益(百万円)



## ■ 新製品ニュース 01

クラストップのボデー容積と車高の低さを実現!スタイリッシュなデザインに一新!

# 回転板式ごみ収集車 新型「2トン パックマンチルト®」を発売

回転板式ごみ収集車「2トン パックマンチルト」の新型モデルを発売いたしました。新製品は、ボデー断面とフロントパネル形状を根本的に見直すことにより、クラストップのボデー容積と車両全高の低さを実現。さらに、曲線をモチーフにした美しく滑らかなスタイルに一新し、LEDリヤフィニッシャーの採用などでデザイン性および機能美に一層の磨きをかけました。



インナーサイドカバー  
(開時)

### クラストップのボデー容積と車両全高の低さを実現

ボデー断面とフロントパネル形状の根本的な見直しにより、クラストップのボデー容積と車両全高の低さを実現しました。

### デザインを一新

曲線を多用した美しく滑らかなサイドカバーや、インナーサイドカバーの標準採用など、機能美溢れるデザインにモデルチェンジ。洗練されたスタイルを実現しています。(オプションにて現行車と同じアウターサイドカバーもご用意しています。)

### LEDリヤフィニッシャーを採用

投入口上部に、作業時のPTOスイッチに連動して点灯するLEDリヤフィニッシャー(作業中警告灯)を採用しました。視認性の高い青色LEDで作業時の視認性を確保し、安全性が向上します。

### 充実の基本装備

クラストップとなるワイドな投入口幅や防錆性の高いステンレス製汚水タンク等、充実の基本装備を搭載しています。

## ■ 新製品ニュース 02

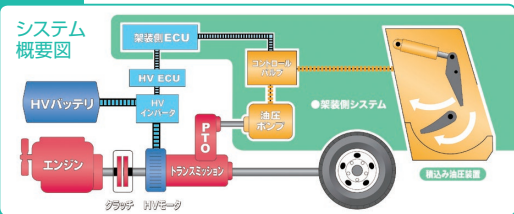
ハイブリッドシャシの走行用モータで塵芥収集装置を駆動！

# 電動式塵芥収集車「eパッカー® ハイブリッド」を開発

ハイブリッドシャシの走行用モータで塵芥収集装置を駆動させるシステムを搭載した電動式塵芥収集車「eパッカー ハイブリッド」を、日野自動車株式会社殿と共同開発いたしました。

今回開発した製品は、日野自動車殿の小型トラック「日野デュトロハイブリッド」に搭載されているハイブリッドバッテリーの電気で駆動する走行用モータを利用して、PTO（動力取り出し装置）を作動させることにより、塵芥収集装置が電動で駆動するごみ収集車です。

当社が従来より発売している「eパッカー」同様に、電動作業時はエンジンを止めて作業ができるため、排気ガスがゼロかつ低騒音化を実現した次世代型のごみ収集車です。



### ハイブリッドシャシの走行用モータで駆動

ハイブリッドバッテリーの電気で駆動する走行用モータを利用してPTO（動力取り出し装置）を作動させることにより、塵芥収集装置が電動で駆動するシンプルなシステムを採用しています。

### 電動作業中の排気ガスがゼロ&超低騒音を実現

電動作業中はエンジン停止状態での作業が可能のため、排気ガスゼロと低騒音化を実現しています。（エンジン駆動での作業も可能です。）

### コンセント接続による充電作業が不要

回生充電\*と走行充電が可能のため、コンセント接続による充電作業が不要です。特別な設備の設置なく電動式塵芥収集車の運用が可能です。

※回生充電：ブレーキを踏んだり、アクセルをゆるめた際に発生するエネルギーを利用した回生ブレーキシステムによる充電

### 使いやすさは通常のごみ収集車と同様

重量の増加がないシンプルなシステムの採用により、通常のごみ収集車と同じ容量のボデーの搭載が可能です。

## ■ 新製品ニュース 03

17メートル級ブームを機動性の高いGVW11トン車に搭載！

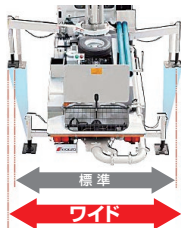
# 新型コンクリートポンプ車 「ピストンクリート®PY75B-17」を発売

機動性の高い中型シャシであるGVW11トン車に新設計の17メートル級ブームと最大吐出量78m<sup>3</sup>/hのポンプユニットを搭載。

また、標準張出し位置と、車両の安定性をより一層高めることができるワイド張出し位置を選択することが可能なフロントアウトリガや、従来より好評をいただいている、コンクリートポンプと同時作動が可能な高圧水ポンプや特定小電力型デジタルラジコン、見やすく使いやすい操作パネル等、充実の基本装備により、あらゆる現場での使いやすさと作業時の安全性を徹底的に追求したモデルとなっています。

### POINT!

新設計の  
17メートル級ブーム



### POINT!

張出し位置を選択できるフロントアウトリガ

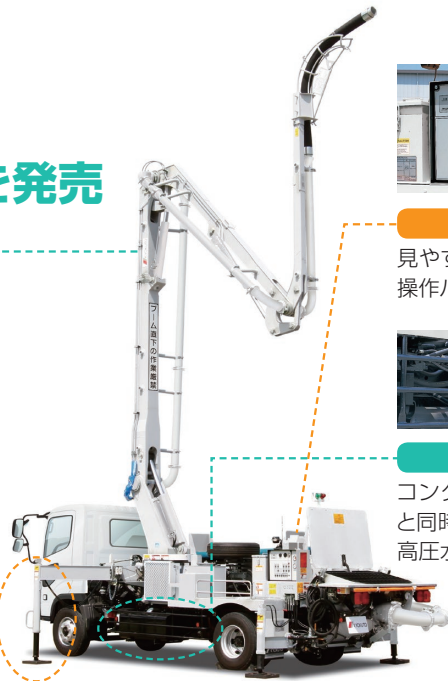
### POINT!

見やすく使いやすい  
操作パネル



### POINT!

コンクリートポンプ  
と同時作動が可能な  
高圧水ポンプ



## ■ 新規事業のご紹介

福岡に次ぐ当社グループ発電拠点の第二弾

# 「八戸メガソーラー発電所」が完成、本年9月より稼働開始!



▲発電所全景

太陽光パネル▶



当社グループでは、来たる低炭素社会の実現に向けて太陽光発電事業への参入を決定し、第一弾として2013年3月より、福岡県飯塚市の当社福岡工場敷地内に建設したメガソーラー発電所を稼働させておりますが、第二弾として青森県八戸市の当社旧東北工場敷地内に建設工事を進めておりましたメガソーラー発電所が2013年9月に竣工いたしました。発電した電力は、全量を東北電力株式会社殿へ売却いたします。

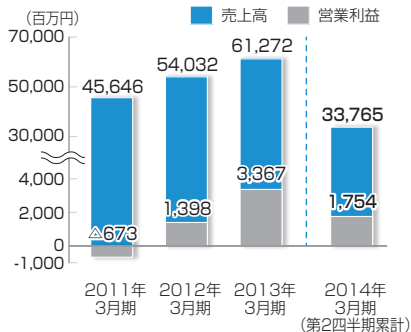
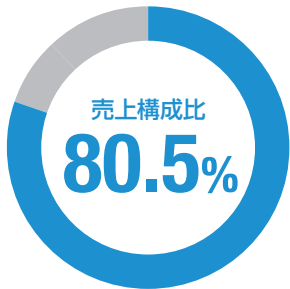
当施設は、竣工後1年間の予想発電量が約181.7万kWhのメガソーラー発電所で、これは一般家庭の年間電力消費量の約504世帯分に相当します。また、太陽光発電によるCO<sub>2</sub>排出量削減効果は竣工後1年間で約606.8tとなります。

なお、第一弾の福岡工場メガソーラー発電所との合計では、竣工後1年間の予想発電量は約368.4万kWh/年（一般家庭の年間電力消費量約1,024世帯相当分）、同期間のCO<sub>2</sub>排出量削減効果は約1,230.3t/年となります。



## ■ セグメント別概況

### 【 特装車事業 】



国内は、震災復興や車両の代替等により、需要は引き続き好調に推移しました。当社グループでは、これらの需要に確実に対応することで受注確保に努めるとともに、各工場の生産能力ならびに生産効率の向上に一丸となって取り組みました。これにより、建設関連車両では大型ダンプトラックやコンクリートポンプ車、環境関連車両ではごみ収集車や脱着ボデー車、物流関連車両では粉粒体運搬車やトレーラを中心として、各分野とも業績は好調に推移しました。



電動式塵芥収集車  
(eパッカー® (給電システム搭載車))



大型ダンプ (GVW20t)



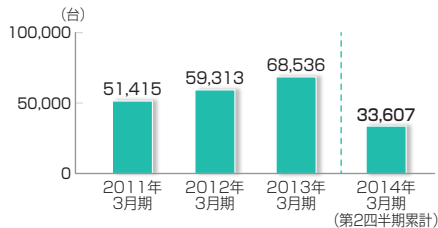
海外は、東南アジア・オセアニア・アフリカ向けを中心とした輸出が堅調に推移しました。また、海外事業の更なる強化を図るべく、当社グループでは3番目の海外生産拠点となるインドネシア工場（PT.Kyokuto Indomobil Manufacturing Indonesia：プルワカルタ市）の本格稼働に向けて最終準備を進めました。

これらの結果、売上高は3,678百万円（12.2%）増加して33,765百万円となりました。営業利益は、中国の生産子会社において貸倒引当金を計上したものの、国内を中心とした増収効果により、124百万円（7.6%）増加して1,754百万円となりました。



PTO式散水車

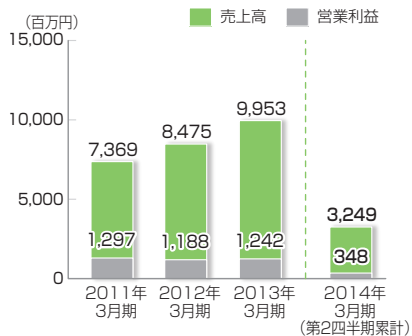
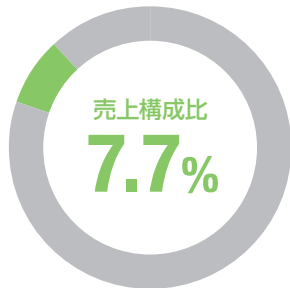
### 国内普通トラック登録台数の推移



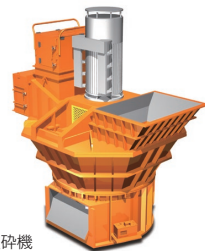
コンクリートポンプ車  
(ピストンクリート®PY100-36A-S)

## ■ セグメント別概況

### 【 環境事業 】



リサイクルプラザ（草加市）



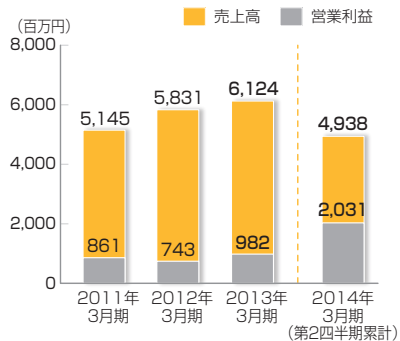
極東・トレマッシュェ®破砕機

プラント建設部門は、厳しい市場環境が続く中、積極的な受注活動を展開した結果、5月に埼玉県志木市・新座市・富士見市の3市からなる一部事務組合である志木地区衛生組合様より粗大ごみ・ビン処理施設を、6月に三重県津市役所様よりリサイクルセンターを、それぞれ受注しました。メンテナンス・運転受託部門では、グループ各社との連携強化により積極的な受注活動を推進するとともに、グループ会社の統合による事業の

効率化を推進しました。

これらの結果、売上高は、運転受託物件の新規受注による増加があったものの、前年度末で大型物件の建設工事が完了し工事進行基準売上高が一時的に減少した影響により、462百万円(12.5%)減少して3,249百万円となりました。一方で、営業利益は、運転受託やメンテナンスが好調に推移したことにより、96百万円(38.1%)増加して348百万円となりました。

## 【不動産賃貸等事業】



コインパーキング  
(P.ZONE®)



機械式立体駐車装置  
(地下パーク3N)

立体駐車装置では、厳しい競争環境が続く一方で、消費税率の引上げや住宅ローン金利の先高観を背景としてマンション需要は増加する傾向にあり、当社グループでは積極的な販売活動により新規物件の受注確保に努めました。また、今後の市場が期待されるリニューアル案件にも積極的に取り組みました。コインパーキングでは、事業地の拡大や稼働率の向上による収益確保に努めました。

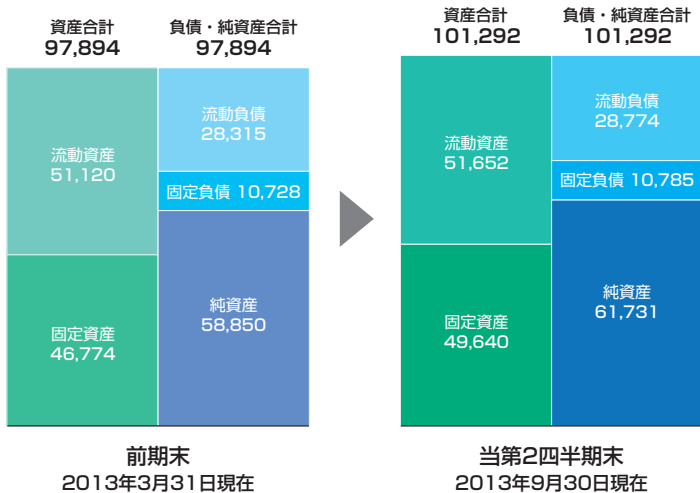
また、新規事業として参入したメガソーラー発電所につきま

しては、本年3月の福岡工場に続き、旧東北工場でも9月に事業を開始いたしました。これにより、今後のグループ業績に寄与する体制を整えました。

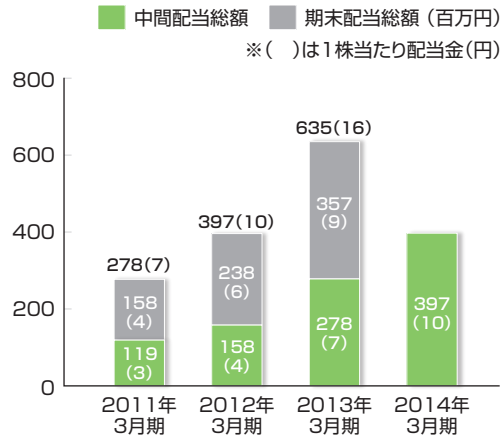
これらの結果、売上高は、立体駐車装置ならびにコインパーキングの増加、メガソーラー発電所の新規計上に加えて、販売用不動産の売却もあったことから、2,074百万円(72.5%)増加して4,938百万円となりました。営業利益は、1,553百万円(324.9%)増加して2,031百万円となりました。

## ■ 連結財務データ (日本基準)

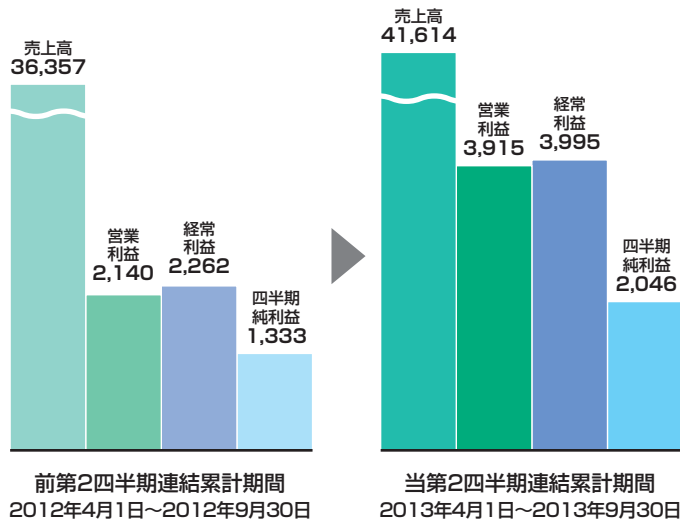
### 四半期連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



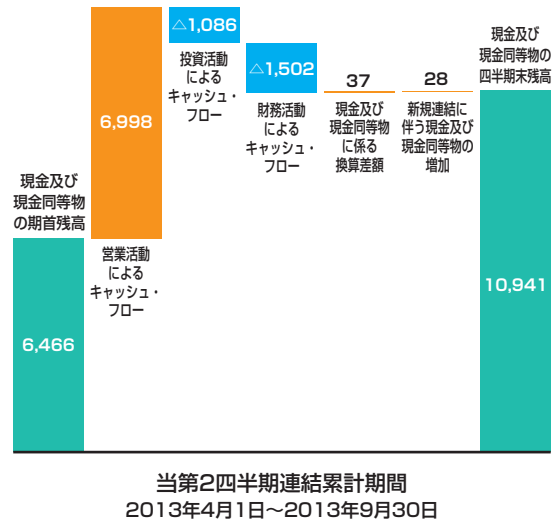
### 配当総額の推移



四半期連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



## ■ 企業データ (2013年9月30日現在)

### [ 会社概要 ]

商 号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設 立	1955年6月1日
資 本 金	11,899,867,400円
従 業 員 数	連結2,367名 単独900名

### [ 役 員 ]

代表取締役会長 最高経営責任者	筆 谷 高 明
代表取締役社長 最高執行責任者	高 橋 和 也
取 締 役 執 行 役 員	杉 本 治 己
取 締 役 執 行 役 員	林 篤 昌
取 締 役 執 行 役 員	米 田 卓

取 締 役 執 行 役 員	近 藤 治 弘
取 締 役 執 行 役 員	酒 井 郁 也
常 務 執 行 役 員	西 川 柳 一 郎
執 行 役 員	中 西 利 寿
執 行 役 員	則 光 健 男
執 行 役 員	堀 本 昇
執 行 役 員	加 藤 定 宣
執 行 役 員	櫻 井 晃
執 行 役 員	越 智 聡 一 郎
執 行 役 員	布 原 達 也
常 勤 監 査 役	高 島 義 典
監 査 役	植 山 友 幾
社 外 監 査 役	道 上 明
社 外 監 査 役	楠 守 雄

## ■ 株式データ (2013年9月30日現在)

### [ 株式の状況 ]

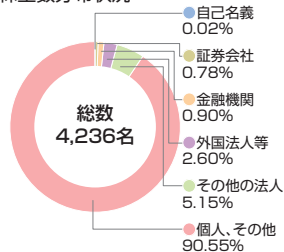
発行可能株式総数 170,950,672株  
 発行済株式総数 42,737,668株  
 株主数 4,236名  
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,391	5.59
株式会社三井住友銀行	1,600	3.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,537	3.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託みなと銀行口)	1,498	3.50
極東開発共栄会	1,279	2.99
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.36
極東開発従業員持株会	890	2.08
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT/DOMESTIC RATE	875	2.04
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	858	2.00
宮原 幾男	843	1.97

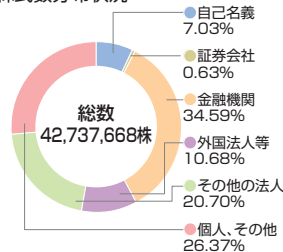
(注) 当社は自己株式を 3,006 千株 (7.03%) 保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

### [ 株式分布状況 ]

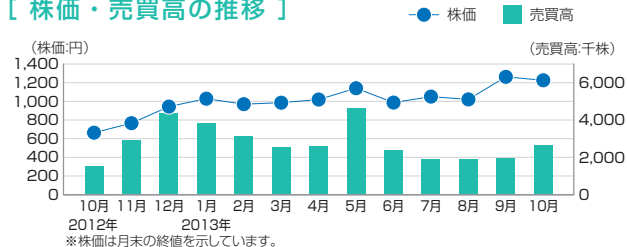
株主数分布状況



株式数分布状況



### [ 株価・売買高の推移 ]





## [ 株主メモ ]

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 ( <a href="http://www.kyokuto.com/">http://www.kyokuto.com/</a> )
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

### <ご注意>

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 4.大阪証券取引所は、2013年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行ったため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所のみとなりました。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 経営企画部

TEL:0798-66-1500

URL:<http://www.kyokuto.com/>

MAIL:[kkkikaku@kyokuto.com](mailto:kkkikaku@kyokuto.com)